

# 乳がん全摘手術後に落ちた 体力が五葉松の粒で回復し 一七年間も再発・転移なし

## 胸のしこりを調べたら 二センチ大のがんと判明し 全摘手術を受けた

島根県益田市に住む島田登紀子さん(仮名・七十一歳)は、若いときから美容師として働き、現在はお姉さんが経営する美容院で腕をふるっています。

カゼなどの軽い症状以外で病院の世話になったのは、出産のときだけという島田さんが、右乳房にできたがんの切除手術を受けたのは、いまから一七年前の、五十四歳のときでした。

「何気なく胸に触ったとき、コリッとしたしこりがあることに気づいたんです。直観的に、乳がんと思いました。す

ぐに診察を受けなくては思っていたものの、仕事が忙しかったこともあって、しばらくようすを見ていました」

その後もずっと右胸のしこりが気になっていた島田さんは、家族や知人に促されてようやく受診。最初にしこりを感じてから、一年がたっていました。

「病院で精密検査を受けると、乳がんとわかりました。がんの大きさは二センチぐらいになっていたそうです」

乳がんの手術は、乳房を残してがんを切除する乳房温存手術と、乳房そのものをすべて切除する全摘手術があります。手術後のがんの再発率を少しでも下げたいと思っていた島田さんは、全摘手術を選んだとのこと。

療やホルモン剤治療などは不要です」といわれました。できるだけ早く仕事に復帰したかったので、手術が成功したと聞いて安心しました」

「闘病によって落ちた体力を取り戻すために、家では体操をしたり、食事をできるだけ多くとるように心がけていました。朝は新鮮な野菜ジュースを飲むことを日課にしました」

体力を回復させるために、毎日地道な努力を重ねていたという島田さん。そのおかげもあって、手術後に受けていた定期検査では、再発や転移などの問題を指摘されることはなかったそうです。

「手術では、右乳房に加えて、わきの下にあるリンパ節まで切除しました。担当の先生から、『がんはきれいに取れたので、手術後は抗がん剤治



五葉松の粒の  
目安量は1日3  
~6粒



|   |    |     |   |
|---|----|-----|---|
| ⊗ | 発症 | 54歳 | 右乳房にしこりを感じて受診したら、乳がんと判明。乳房の全摘手術を受けた後、体力の低下を感じるようになる |
| ☺ | 開始 | 60歳 | 2004年から、朝食後と夜の入浴後に2粒ずつ飲む                            |
| 😊 | 改善 | 60歳 | カゼを引かなくなったり疲れにくくなったりするなど、体力の向上を実感。定期検査でもがんの再発や転移はなし |
| 😊 | 現在 | 71歳 | 美容院に来るお客さんに驚かれるほど、元気に働いている                          |

## 飲みはじめからカゼを引かなくなり免疫力向上を実感

「健康の情報に詳しい息子が、『五葉松の粒を飲むと免疫力が高まって、カゼを引かなくなる』といっていました。」

「疲れやすくなりました」  
体力の回復を感じないまま  
五、六年が過ぎたとき、島田  
さんは五葉松の粒と出会いま  
した。島田さんの息子さんが  
見つけてきたそうです。

がんの再発防止  
に飲んでいる人  
もいるそうで、  
ぜひ試してみたい  
と思います」  
島田さんは、  
朝食後に二粒、  
夜の入浴後に二  
粒と、一日計四  
粒の五葉松の粒  
を飲みはじめま  
した。

「しばらくすると、カゼを引  
かなくなりました。仕事を終  
えたときも、以前より疲れを  
感じなくなりました。体調  
の変化は、自分がいちばんわ  
かるものです。『五葉松の粒  
のおかげで免疫力が高まって  
いる』と感じました」  
それから現在まで、島田さ  
んは五葉松の粒を毎日飲みつ  
づけています。カゼの兆候を  
感じたときは、二倍の量を飲  
んで大事を取っているそう  
です。

「いまは朝四時半に起きて、  
大切にしている花の手入れを  
するのが日課です。朝食をと  
った後は、夕食の下準備をし  
てから仕事に向かいます」



五葉松の粒で体力が戻った島田さんは、美容師の仕事を元気にこなしている

帰宅して夕食をとった後は、  
九時半ごろに就寝するという、  
規則正しい生活を送っている  
島田さん。休日は花の手入れ  
に加えて、買い物や料理を楽し  
むなど、充実した毎日を送って  
いるそうです。

「七十代は、体のあちこちが傷  
んでも不思議のない年齢です。  
私の場合、さらにがんを経験し  
ていますから、もっと体力の低  
下を感じてもいいのですが、五

## 多くの研究機関で確かめられた五葉松の働き

国内における五葉松の研究は、昭和大学医学部の坂上宏教授(当時。現在は明海大学歯学部教授)によって始められました。以後、五葉松が持つ高い機能性に注目が集まり、以下のような日本を代表する多くの機関で研究が行われています。

国立感染症研究所／国立保健医療科学院／東京医科歯科大学／昭和大学医学部／東京大学医学部／日本獣生命科学大学／名古屋市立大学薬学部／大阪府立大学／山梨医科大学／九州大学農学部／広島大学工学部／福山大学／東亜大学／鹿児島大学／明海大学／(財)日本生物化学研究所

葉松の粒のおかげで年齢を感じることはありません。店にいらっしゃるお客さんからは、「がんを患っていたなんて信じられない」といわれます」  
島田さんは、定期的に受けてきた検査でがんの再発や転移が見られなかったこともあり、医師から検査はほとんど不要といわれているそうです。

「私が元気になるようすをそばで見えてきた夫や孫も、いまではカゼの引きはじめに五葉松の粒を飲んでいます。五葉松の粒は、我が家ではなくてはならないものになりました」